

冒険しんぶん

2010/08/07

ピアノ発表会

第10版

発行・編集

ポコリーナ

ケンケン

今回は、今年に入ってからいらしてくださいっています、がちゃぴんさんです。百貨店で働いていらっしゃる彼女に、ピアノについて伺いました。

◇ニックネーム・・がちゃぴんさん

◇がちゃぴんさんの最近弾かれた曲・・ピーターと狼（プロコフィエフ作曲 タチアナ・ニコラーエフ編曲）

「いつからピアノは習われていますか？」

4歳でエレクトーンをピアノの前に始めました。

その後、住んでいるマンションの下の階の人に紹介していただいた先生に習いました。

「すごい偶然だったんですね。」

そうなんです。

なかなか厳しい先生で、初めてのレッスンのときに先生に

「どの位の時間練習してる？」って聞かれて全然練習していないのに、嘘ついて「30分弾いてます」って答えたら、「小学校1年だったたら1時間、2年生だったたら2時間」やるように言われました（笑）。

「厳しい先生ですね！」

小4の時にチェルニー40番が終わりました。バッハもインベンションを2周しました。その後これ以上のレベルは教えられないからと、その先生のお嬢さんに習うことになりました。後でわかったんですが、某音大の先生でした。

「インベンション2周・・・すごすぎる。」

この先生がとにかく怖い先生で・・・そこから鬼のレッスンが始まりました。

弾く曲は全部フォルテでインテンポで1週間後にもってく

る、という流れでした。練習した曲はソナタアルバムばかりで、たまに子犬のワルツや幻想即興曲を弾かせてくれて嬉しかったです。

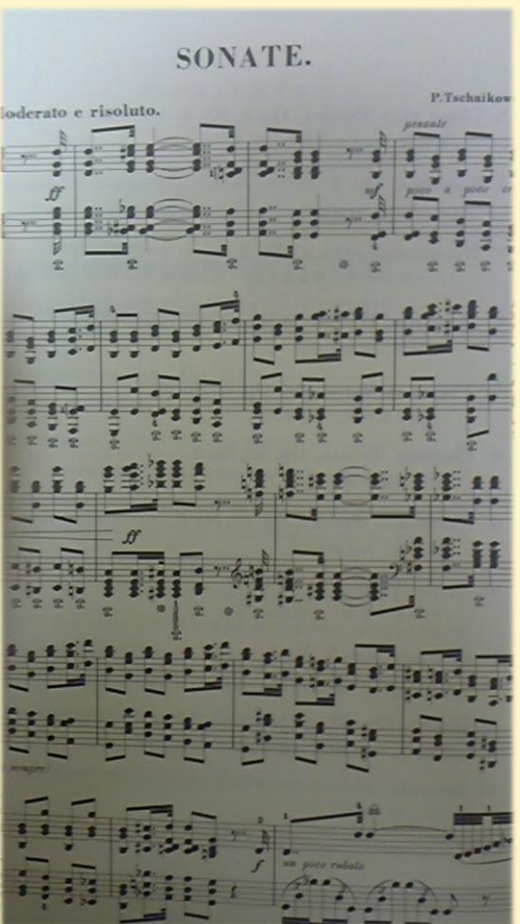
一音間違えたらものすごい剣幕で怒られるのが怖くて、とにかくミスをしないうで怒られないように曲を仕上げることをだけを思っていました。

「ストイックですね。音大受験を考えられていたんでしょうか？」

私も両親もそんなこと考えていなかったのですが、中学受験をして私立に進学したことで「この子は中学高校はピアノに専念できることを考えた」と何故か誤解され、そしてたまたま出場した地元のピアノコンクールで奇跡的に本選までいってしまい、講評にも良いことばかり書かれていたのが更なる誤解を招き、中学2年の時に音楽高校（※音楽を専門的に勉強する高等学校）を薦められ、軽い気持ちで「行きます」と言ってしまったから第2の苦しい時期の始まりとなってしまいました……、

「それだけピアノを練習されてたら、薦められるかも……。」

そして、受験のための教室に通ったのですが、某野球監督の奥さんをさらにキツくしたような校長先生がいて、周りにはピアノがとても上手い人達



ばかりでした。
地方から来たお嬢様とか音楽一家の子供とか、「ここは私がいる場所じゃないかも・・・」と思っていました。

「ピアノ版のお受験ですね！」

特待生のようなとても上手な子と同じ曲を発表会で弾く事になって、緊張のあまりオクターブ間違えたこともありま
す。終わった後号泣でした
が・・・。

先生には泣いたことも「そんな情けない」みたいにかえって叱られました（苦笑）。

その後、冬のレッスンで手袋を忘れていったら「見損なつた」と言われ、さすがに精神的にもきつくなり受験をやめることにしました。

「それは・・・壮絶でしたね。本当に努力されたんだと思います。」

やっとピアノから開放される、もう一生弾かない、とその時は思いました（笑）

「今もピアノを弾かれています」ということは、その後もレッスンをなんらかの形で弾かれていたのですか？

私のピアノに対する気持ちとはうらはらに、母親はいつかまた音大に行きたいというのではないかと思っていたらしく、また別の先生に習うこと

になりました。そしてまたこの先生と相性が合わなくて・・・3ヶ月で辞めました。母親と話し合い、もう趣味で楽しく弾ける先生に習いたい意向を伝え、地元の音楽教室の個人レッスンに通うことになったのですが、この先生がとてもピアノの講師らしくない方でした。

「どんな方でした？」

茶髪にピアス、煙草を吸って「よっ」って挨拶するんです（笑）。

ピアノの先生のイメージを一気に覆されました。それで、初回レッスンのときに練習曲を持っていったら「そんなつまらない曲（弾かなくて）いいよ」って言われて、すごく意外でしたね。

「なかなか珍しい方かもしれないですね（笑）」

で、「弾きたい曲を弾きなさい」と言われ、駄目もとで弾きたい曲を言ったらあっさり

「呉をもらい、それからだんだん弾く曲の感じがフランクになってきました。」

高3になったので受験だから1年休み、その後は発表会だけ出られたので独学になりました。

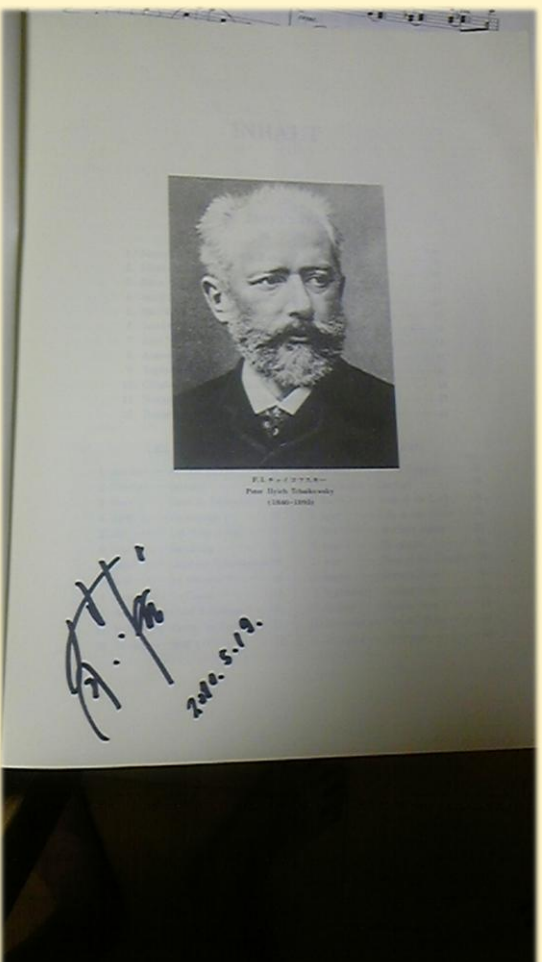
「大学に入られてからはどうされていましたか？」

スキーサークルに入りました。サークル活動に明け暮れてピアノはあまり触っていませんでしたね。

完成させないで中途半端な曲がいくつもあります。ラヴェルのソナチネとか水の反映とか・・・。

「社会人になられてからは？」

入社から昨年末くらいまで忙しい部署にいたので、独学で一年に1、2曲は仕上げたもののやはり中途半端で・・・ピアノを弾いている時間はありませんでしたが、異動して現職（紅茶売場）に就いてからは少し余裕が出て



きてピアノを弾ける時間も増え、もっと上手くなるうと思いい独学を止めてピアノを本格的に再開しました。28年間の人生の中で、今が一番ピアノが好きな時かもしれませぬ。

「やはり義務感を伴っていないからでしょうか。」

そうですね。強制的に弾かされていけないのは大きいです。あとは今教わっている先生がとてもいい先生だからだと思います。

今2人の先生に教わっているのですが、1人の先生はとても朗らかで、「褒めて伸ばす」タイプなんです。どんなに練習していなくても先ず演奏の中で良かった点を必ず見つけてくれて褒めてくれます。モチベーションが上がります。また子供をメインに教えていらっしゃるからでしょうか、比喻がとてもわかりやすい。例えば、例えば同じピアノ（p）の部分でも、「甘い音で、砂糖でもサラサラのお砂糖のイメージ」と言っていたり、「ここは固くて冷たい音」と言っていたり。また、手の動きがわかりづらいところも「ここはラグビーボールのような円を描くように」と言っていたり。

「先生の教え方って大事ですよね。」

一方、もう1人の先生もとて

も穏やかなんですが、どこか情熱的でした。専門の生徒をメインに教えていらっしゃるので1曲に対してとても深いところまで教えてくださいます。その曲と作曲家の関係から、手首の動きやペダルの踏み方など、何故その動きをするのかと理由から説明していただき常にレッスンでは発見だらけです。また、その先生に指摘されると、できなかつたところが魔法のようにできるから不思議です。

「今でもピアノに親しんでいらっしゃる感じで素敵です。」

のめりこむと集中して頑張りすぎてしまうので、今はコンクールとかは出ずマイペースにやっていきたいと思っています。目標は人の心を動かす演奏。以前マイミクの方が心に響かない演奏について、「感心はしても感動はしない演奏」と言っていました。そういう風にはならないよう、テクニクだけでは無い演奏をしたと思います。

編集後記

「ブランクがあるので上手く弾けないかも」と最初コミュニケーションに参加される際おっしゃっていましたが、演奏をお聴きして「この方は基礎がしっかりしてる」と思っていました。

お話を聴きしてやっぱり！という感じです。

がちゃぴんさん、どうもありがとうございました！



お世話になっっているナギさんの「おうちでカフェコンサート」にお邪魔してきました。午後の一時、美味しいお菓子を頂きながら、参加者の方のピアノを聞くという贅沢な時間を過ごしました。



お宅がモデルルームみたいに素敵です。ピアノの発表会コミュニティからリンクが貼ってありますので、ご興味ある方はのぞかれてみて下さいね！